

海癒で源泉力に触れる

タケムラナオヤ

温泉、銭湯好きの私に言わせれば、高知の温泉はいまひとつなのだ。もともと源泉の湧出量が少ないのに、大きな浴槽を構える。それゆえ循環濾過はあたりまえ、過度な塩素消毒も当たり前。温泉に入り来ているのか「塩素」泉に入っているのかもわからない温泉の多いこと。最近はこのツーンとした匂いが「いい匂い」なこと。お客様さんにもいろいろ「温泉数寄の立場からすれば、正直やっつけられない」。

それでも良心的な温泉もいくつかある。いや、もはや「あった」といってもいいくらいに、少数派ではあるのだが、山あいではつねに「いい匂い」な、古の湯治場のような風情のところはだいたいぞうだ。そのひとつが、土佐清水にある海癒。3年前前に新しくできた、高知では新しい部類の温泉だ。

この特徴は、なによりも主人の「こだわり」にある。まず、源泉に何も加えていない。塩素はもちろん水も加えない。源泉を加熱だけして、そのまま掛け流す。次に、冷暖房は極力使わない。夏場にでかい温泉やスパー銭湯へ行く、キンキンに冷えた更衣室が正直気持ちが良い。だけど、この行為は本来の「湯の力」をかき消すようなもの。だから、更衣室から庭に出て、海からの風（ゆっく）と身体を冷やす。

そして何より、湯は新で沸かす。人手的には間違いないポイラーで焚いた方が早い（それでもポイラーの維持管理はめちゃ大変のだが）が、わざわざ毎日トーン近い薪を使ってお湯を沸かしている。自然な力で沸かしているから、お湯が優しく、なおかつ温もりの維持する時間がとても長い。ちなみに土佐清水の銭湯も薪火だが、油で焚くポイラーよりも湯に「力」が出やすいようだ。

湯の力を犠牲にして客の回転数を高めることに汲々とするのではなく、湯の力を高めることで各一人一人がゆっくりと癒されることを目標にしているのだから、経営的にはおおよそ楽ではないだろう。

だけど、商売って本来こういう「お客様のためにあるべきもの」じゃないだろうか。どこかの温泉で「お客様の安全と安心のために、本温泉は高温消毒・塩素消毒を行なっております（毎日掃除しているとは書いてない）」という馬鹿げた看板が出ているのを見たことがあるけれど、正直消費者をバカにしている。その真横に誇らしげに掲げられた温泉成分表の成分がどれだけ残っているのだろうか。

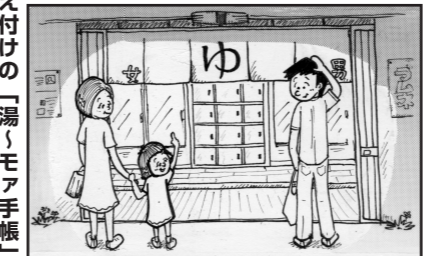
なにはともあれ海癒の湯力、その効果。ふだん大きな温泉やスパー銭湯で「気持ちいい」とほっかり騙されてしまっている方は、強く感じるはずである。海癒 土佐清水市大岐 〇八八〇一八二一八五〇〇 (銭湯・温泉数寄)

銭湯川柳

さく：みちる+あんな



川柳募集中！



各銭湯備え付けの「湯～モア手帳」に銭湯にまつわる川柳を書いてネ！



単立ちの日 幼い娘 女湯へ (賢い早稲穂)



単立ちの日 幼い娘 女湯へ (賢い早稲穂)

湯～モア新聞

発行日：2009年7月20日
 発行人：湯～モア会議
 高知市市民活動サポートセンター内
 TEL.088-820-1540

第6号



マナー守って
 きもちよく
 みんな楽しい
 銭湯へ行こう

yumore.seesaa.net

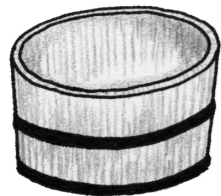
湯桶の科学。

文・梶原希美

人の話声、水の音、響きわたる桶の音。銭湯と聞いて思い出す音の一つでもある「湯桶」の文化を探ってみました。

木桶

銭湯の湯桶といえば、昔はほとんどが木桶。大正時代までの銭湯は、板張りの洗い場・木造の浴槽が主流だったので、もちろん湯桶も木製。大正時代には



洗い場や浴槽がタイル張りに、昭和になってカランが取り付けられるなど近代化が進みました。同時に衛生面も



アルミ製の湯桶

木桶に代わる桶として登場した、アルミ製の湯桶。以前は、アルミ製の湯桶片手に銭湯に出掛ける人が多かったのだとか。土佐清水に取材に出掛けた際、大岐の浜の「海癒」に泊まったのですが、海癒の温泉ではアルミ製の湯桶が使われていました。軽くて、垢がつきにくいというアルミ製の湯桶。へこみやすく、こわれやすいのが難点なのだそうです。大切に使われているアルミ製の湯桶が印象深く残っています。



ケロリン桶

そして！銭湯の湯桶の代名詞と言っても過言ではない「ケロリン桶」。腰掛けに使ってもピクともしないその強さから、別名「永久桶」とも呼ばれるこの桶は、東京オリンピックが開催された前の年、昭和38年に誕生しました。内外薬品株式会社が1963年に発売し、現在も販売され続けている。鎮痛剤「ケロリン」その名の通り、多くの人が利用する銭湯の湯桶に商品名を入れるという画期的なアイデアで、コーマシヤル湯桶「ケロリン桶」が登場したのです。初代のケロリン桶は白色（透明）。ただ、汚れが目立つということで、試行錯誤の結果、お馴染みの黄色となったのです。

- 5.ボディクリーム 風呂上がりはこれでお肌を守ります
- 6.洗顔料
- 7.リンス 銭湯で30円で販売
- 8.シャンプー 銭湯で販売しているもの。リーズナブルでしかも荷物にならない。



- 1.ポーチ MUJIの定番ですね。銭湯好きには必須の逸品です
- 2.手ぬぐいその1 身体洗い用でしょうか？
- 3.手ぬぐいその2 身体拭き用でしょうか。ちなみに梶原さんは強度の手ぬぐいマニアで、家のタンスには40本の手ぬぐいがコレクトされているとか。
- 4.MUJIの串 簡単な作りの串です。旅人仕立てといったところ

持物検査

梶原希美さんの場合

検査員のコメント
 銭湯に通い慣れた女子ならではのシンプル装備が好ましいです

週に一度は銭湯へ行こう!
 銭湯入浴料金
360円
 中人 150円
 小人 60円

lemonyu
 八月十五日(土)はレモン湯の日
 レモン湯に入れば、お肌がしっとり、すべすべに。保温、保湿効果もあるので、冷え性でお悩みの方は是非どうぞ。さわやかな香りに包まれ、身も心もリフレッシュ!



高知県公衆浴場生活衛生同業組合
<http://www.seiei.or.jp/kouchi/sento.html>

次号は秋発行です。

愛宕湯 ◆◆ 愛宕町 八二四・二

潮湯 ◆◆ 潮新町 八三一・二二八三

角湯 ◆◆ 塩屋崎町 八三二・六三〇五

清水湯 ◆◆ 桜馬場 八七三・〇〇五〇

城下湯 ◆◆ 小津町 八七二・七六五二

高砂湯 ◆◆ 新本町 八七五・〇六二二

司湯 ◆◆ 中宝永町 八八三・六三〇六

土佐温泉 ◆◆ 百石町 八三二・六六五四

中水道湯 ◆◆ 中水道 八七五・二三〇五

百石湯 ◆◆ 百石町 八三一・七〇九七



番台

数種類のシャンプー・リンス・石鹸などが販売され、自由に読める新聞があり、まるでキオスクのよう。相撲の場所が始まると、番台の壁に星取表を張り出す。

創業明治・大正期

当時を彷彿とさせる、「掲告」が銭湯入口に飾られている。「入浴中放歌高聲其他喧噪スベカラズ」など、読んでみると面白い。

脱衣所に設置されているサウナも人気。
【サウナ料金(入浴料込み)】女性530円/男性580円

旭湯

土佐清水市栄町14-1
TEL 0880-82-1260 Pなし
14時～23時
4のつく日定休

BATHING RULES:
1. BEFORE ENTERING BATH, SPLASH WITH WATER or TAKE A SHOWER.
2. DON'T BRING SOAP or TOWEL INTO THE BATH.
3. ENTER AS OFTEN AS YOU LIKE.

経営者は40歳

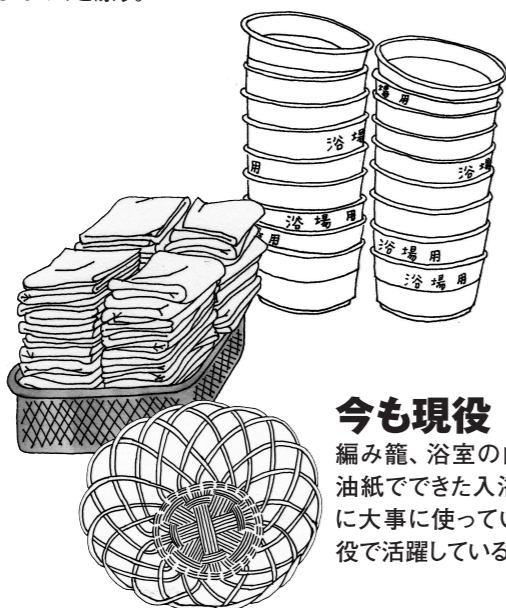
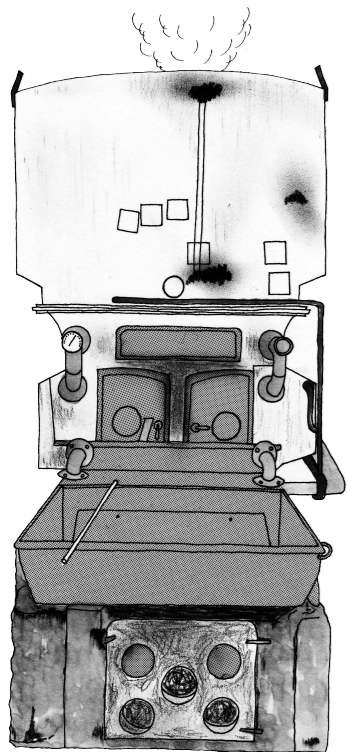
県内の銭湯経営者で一番若手の夫婦が切り盛りしている銭湯。

「銭湯は日本独自の文化。日本人の誰もが『銭湯に入ったことがある』と胸を張って言えるようになればなあ」と語る姿にはパワーがみなぎる。

助成金も活用して少しずつ整備を進めているが、悩みのは、壊れることを見通して申請しなければならないような制度が多いことだという。

旭湯も相生湯も薪で沸かす

かなば(木をスライスしたもの)やおがくずなどで沸かしたお湯はやわらかい。浴室にも木の燃える良い香りがほんのりと漂う。



今も現役

編み籠、浴室の白のケロリン桶、油紙でできた入浴券……。大事に大事に使っているから、今も現役で活躍している。

銭湯佐清水研究

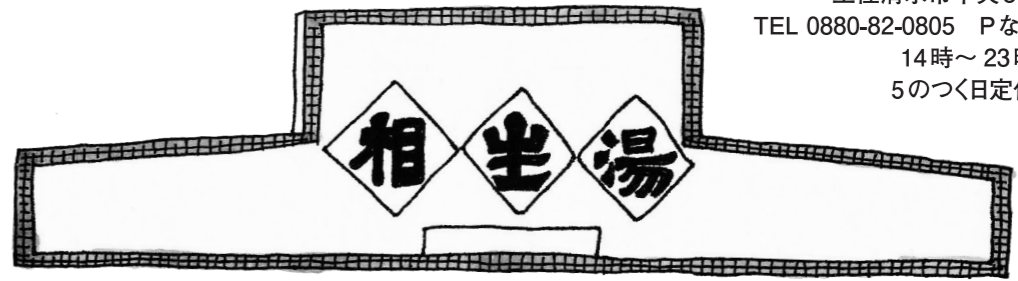


相生湯の浴槽

銭湯は漁師たちの情報交換の場でもある。相生湯の女湯はひょうたん型、男湯は楕円型。相生湯も旭湯も男湯が大きく、旭湯の男湯サウナはテレビもついた豪華版だ。浴室にある電気風呂は肩こり、腰痛によく効く。無料にてお試しあれ。

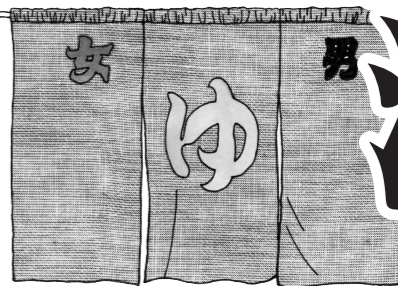
銭湯の造り

玄関のタイル張りの柱、入口の開き戸、浴室の壁の鮮やかなブルー、トイレまで続く抜け道のような通路……。ここは南国だと実感させられる造りに惚れられ。



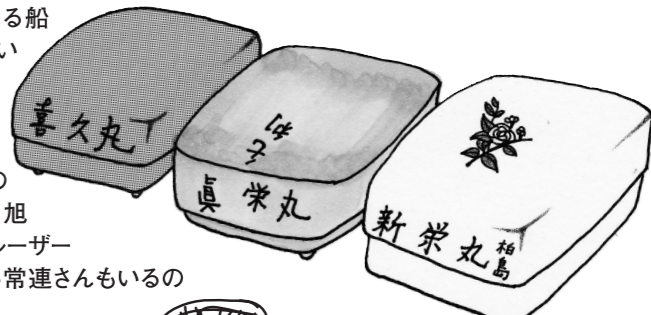
土佐清水市中央3-3
TEL 0880-82-0805 Pなし
14時～23時
5のつく日定休

相生湯



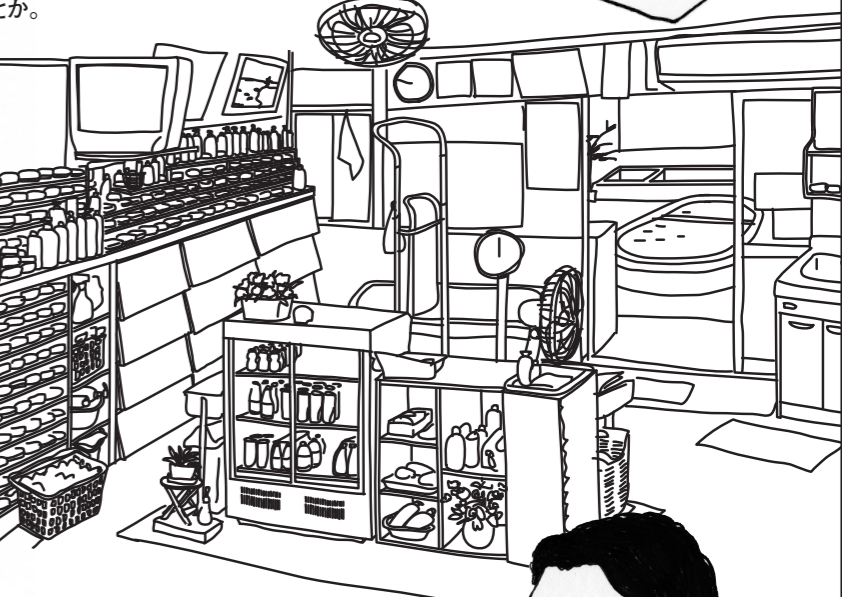
脱衣所に並ぶ石鹸箱

旭湯・相生湯共に番台近くの棚にカラフルな石鹸箱がずらりと並ぶ。漁師たちが自分の石鹸箱に船の名前を書いて銭湯に置いているものだ。最近は港に入る船も減り、使われていない石鹸箱も多いが、「石鹸箱をのけてしまうと、寂しくて」と、大事にそのまま置かれている。旭湯には広島からクルーザーに乗ってやってくる常連さんもいるのだとか。



手づくりの暖簾

銭湯の2階で喫茶店を営むお嫁さん手づくりの暖簾が迎えしてくれる。



優しい配慮

年配のお客さんが来られると、浴室で体調を崩していないかと気になり、番台から降りて何度も確認してしまう。「銭湯の仕事はたくさんの人と出会えるし、いろんな人と会話できるのが楽しい」と語るおかみさんは生料の銭湯人。

